

1 はじめに

鳳珠郡には12校の小中学校がある。鳳珠郡学校教育研究会学校図書部会では、「豊かな学びのある学校図書館をめざして」をテーマに研究に取り組んでいる。各学校での実践交流しながら、児童の情報の収集・選択・活用能力の育成をめざし、次のような学習情報指導の実践を重ねてきた。

2 実践の概要

(1) 授業のねらいに沿った図書館資料の整備

国語科では、言語活動に使用する並行読書の図書の整備を行った。授業のねらいに沿った図書館資料を、図書館内や教室にてコーナーを設置し並べた。



学級活動も同様に、歯の衛生週間に全学年が歯に関する学習をした時には、歯に関する図書を図書館に並べた。

また、学期に一度以上、図書館資料を使った授業を計画し、表にまとめ、図書館指導員と共有した。図書館指導員が来校する曜日に合わせて授業を行い、図書検索等のサポートを受けた。

学年	教科「単元名または教材名」	使用した図書館資料
1年	国語「くちばし」	動物図鑑
2年	生活「みんな生きている」	生き物に関する本
3年	国語「仕事のくふう、見つけたよ」	仕事に関する本
4年	国語「事実に基づいて書かれた本を読もう」	ノンフィクション
5年	社会「米作りのさかなな地域」	農業に関する本
6年	国語「わたしたちにできること」	環境問題に関する本

(2) 児童の主体的な学習活動の支援

国語科では、教材文で学んだことを活かして学校図書館の中から自分が選んだ本について紹介する言語活動を行った。1年「くちばし」では「一番すごい!」と思ったくちばしを友達に薦める」活動、4年「一つの花」では「平和を願う本を3年生に紹介



する」活動、4年「ランドセルは海をこえて」では「ノンフィクションを帯で全校に紹介する」活動を行った。

(3) 情報の探し方・資料の使い方指導

年度初めに、図書館指導員が図書館の利用の仕方についてオリエンテーションを行った。

また、3年国語「図書館たんていだん」では、図書館指導員から本のつくり（表紙、背）や9分類について教わった。



(4) 成果物の蓄積、活用

4年国語「ランドセルは海をこえて」では言語活動として、ノンフィクションを帯で全校に紹介し、帯付きの図書を図書館に展示した。



3 今後の課題

(1) 成果

- ・学期に一度、図書館資料を使った授業を設定したことで、図書館指導員と計画的に連携しねらいに沿った図書館資料の活用ができた。
- ・図書館資料を活用した言語活動の設定により、普段自分では手に取らないジャンルの図書に出会うきっかけになった。また、単元を通して主体的な学習にも繋がった。成果物を図書館に掲示し、他学年からの反響があったことで児童は達成感を味わっていた。

(2) 課題

- ・一人一台端末の活用が進んでいる。児童が目的に応じて端末なのか図書なのかを、選択して活用する力を育てていくことが課題である。
- ・更なる図書館指導員との連携が必要である。